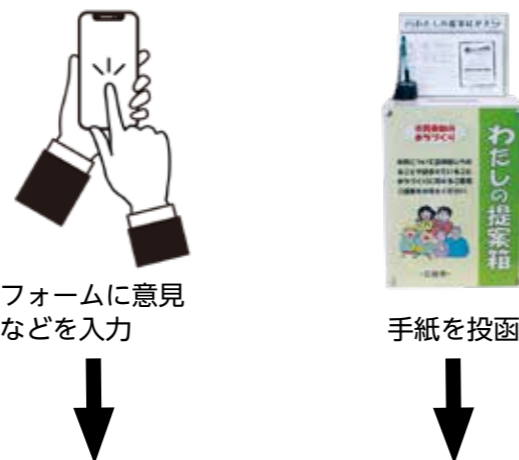


# 市長が直接確認します、出席します

田村市長がまちづくりを進める上で、最も大切にしている「市民目線」。それは、市民の皆さんに必要な情報を発信・共有するとともに、市民一人一人のお声を丁寧にお聞きし、共に考えていくことです。市民目線のまちづくりを進めていくため、10月から「田村克也市長への手紙」、「地域医療市民会議」を始めていきます。

## ① 聞かせてください!! 田村克也市長への手紙

市民の皆さんの声が田村克也市長へ直接届く「田村克也市長への手紙」を実施します。名前、住所、連絡先は必要ありません。市長が直接目を通し、市政に必要なものがあれば対応を取らせていただきます。下記専用フォームや市内の各市民センターなどに設置している「わたしの提案箱」から、お気軽に意見を届けてください。市民の皆さんからのご提案、ご意見をお待ちしています!



### ■ 提出方法

#### ① 田村克也市長への手紙専用フォーム (右記2次元コード)

ご意見・ご提言などのタイトル、内容を入力



#### ② わたしの提案箱に投函

様式は自由。ただし、「田村克也市長への手紙」と必ず記載してください。また、「わたしの提案箱」に備え付けの用紙(市HPからダウンロード可)もご利用ください。※詳細はHPをご覧ください。

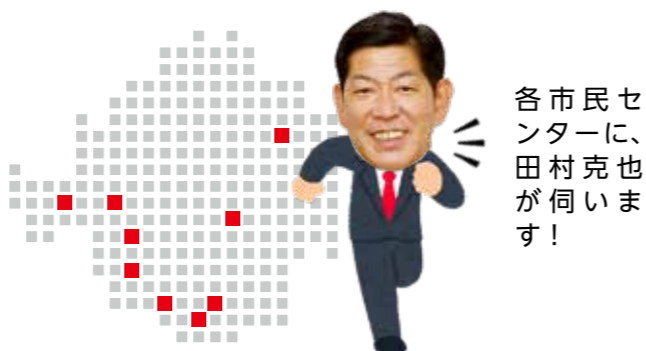


問い合わせ=総務課 行政・広聴係 (559-5035 FAX 559-6877)

## ② 直接お話をさせてください!! 田村市長と市民の「地域医療市民会議」

市長が直接市民の皆さんに情報を伝え、意見を聴き、話すことで、三田市民病院のこれからのについて、市民の皆さまと一緒に考えていきます。※詳細については、広報さんだ10月号と同配したチラシや市HPでご確認ください。

### 市長からのメッセージ動画



問い合わせ=地域医療推進課 (565-8620 FAX 565-8633)

## 市長田村克也の お手紙

届けます。



私の市政への基本理念は、『市民本位の市政』を築き上げていくことです。つまり、市民の皆さんの声を市政に反映していくことが極めて重要であると考えているため、10月から2つの施策を早急に実施します。1つ目は、『田村克也市長への手紙』です。これは、市民の皆さんからのご意見や想いなどを、市長である私に直接届けて欲しいとの強い想いから発案させていただきました。市民の皆さんからの声は、これからの新しい三田市を築き上げていく原動力になりますので、ご提案、ご意見をお待ちしています。なお、『田村克也市長への手紙』は、現在市が行っている『わたしの提案』と並行して実施していきますので、ご理解いただきますようよろしくお願いします。2つ目は、三田市の喫緊の課題である三田市民病院にかかる取り組み

です。10月から11月にかけて、私自身が市民の皆さんのもとに出向き、『地域医療市民会議』を開催します。この会議では、私が皆さんのご意見を直接お聴きし、お話させていただくことで、しっかりとした情報発信を行い、三田市民病院のこれからのについて一緒に考えていきたいと思っています。地域医療市民会議は全部で延べ10日間計74回開催し、全ての会議に私は参加します。多くの市民の皆さんがこの課題に関心を持って、ご参加いただくことを期待しております。その他にも、9月から私が出演している動画をYouTubeで順次情報発信するとともに、11月には医療有識者を招いた「地域医療フォーラム」の開催も準備しています。これからも、私自身が積極的に情報発信して参りますので、市民の皆さんの市政への参加をよろしくお願ひします。

# 『市民本位の市政』の実現

三田市長 田村克也

### PickUp News

9月定例市議会でご同意いただき、9月21日付で副市長に就任しました。私は、丹波篠山市で生まれましたが、三田市で約38年間、議会の皆さまをはじめ、各分野・関係機関の皆さま、そして多くの市民の皆さまに育てていただき、現在の私が存在していると思っております。人口減少や少子高齢化とともに、社会構造の変化により地方自治体の置かれている状況は大変厳しいものがあります。従来の都市間競争の奪い合いではなく、新しい連携により創り上げるといふまちづくりの広域的な視点とコンパクトな視点の両輪を持ちながら、三田らしさを創り上げていきます。田村市長をバックアップし、さまざまな行政課題に向き合い、市民一人ひとりの幸福の実現に向けて、持ち前の誠実さと知力をもって全力を尽くします。



三田市副市長 西田和明